



# 緑の風



学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」  
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

## 「ちょこつと参観」の紹介 第2弾！！

レベルの高い授業、元気のよい授業、こちらまで笑顔にしてくれる授業。今回も、たくさんの“よさ”を発見することができました。  
どの学級も“笑顔”がいっぱいです。だから、授業を見ただけでも、横堀小学校は子どもたちにとって【楽しい学校】であることを実感します。  
今から、7月12日(金)のPTAが楽しみですね。

**6月6日(木) 2校時 1年生・国語**  
めあて じぶんのきもちをはなそう  
それをつけて  
うれしかつたことやびっくりしたことを書いて、話をし伝える勉強。まが、学習の規律がしっかりしていることが素晴らしい！準備、姿勢、手の上げ方・・・  
そして、何よりも学びを自ら事としていえるのも、教室は楽しくとるさうこのうも、と理解できている、ものすごい1年生です。



**6月6日(木) 3校時 3年生・算数**  
めあて おはじきや絵を使わないで  
わける答えを出さず、方ほうを考えよう  
式や言葉で考える、3年生ならでは、レベルの上がつた、学習を楽しんでみんなど元気に授業を10人だけけれど、4通りの違いが出てきていました。めあてや見通し、自分の考えやまとめ、“あき年型”と言われる学習が定着している3年生です。



**6月6日(木) 5校時 あゆみ・生活単元**  
めあて なかつしきょうのうしつしょう  
6月18日の近く、学校の友だちとの「なよのしきょう」に向けた練習。  
力を使ったドリル、体操など。音楽のこまごまで、いろんな勉強で身に付けてきたことを、笑顔いっぱい、やる気満々で見ている私たち大人みんなを幸せにしてくれました。



学校のアプローチを飾る 人権の花  
一人一鉢花作り

11日(火)、人権擁護委員の中村健秀さんと池田キミさん、仙北支所の方々をお招きして、縦割り班でペゴニアの花の苗を植えました。  
写真は、5年生と2年生のペアです。土の入れ方や花の置き方を優しく教えてくれる5年生と、すなおにお話を聞くことのできる2年生の、あったかい心のお花も咲きました。

「人権」というのは、自分の命や他の人の生き方を大切にしていくなのだと、中村さんから教えていただきました。そして、「世界に一つだけの花」の次のフレーズを歌って、花の命と自分たちの命のつながりを感じました。

玄関や花壇は、子どもたちがていねいに植えた花でいっぱいになりました。今度は、今日の「思い」を「かたち(行動)」にして、水をやりながら、ぼくとわたしたちの心も育んでほしいと願っています。



世界に一つだけの花.

小さい花 や 大きな花  
一つとして 同じものはないから。  
NO.1に ならなくてもいい。  
もともと特別な Only one.

世界に一人だけの  
ぼく・わたしたち。

みんなのがんばり紹介

U-8 セレジェスタカップ  
準優勝 中仙おおた神岡FC

大曲仙北小学校陸上大会 (雄和県営陸上競技場)

- |               |     |
|---------------|-----|
| 4年女子100メートル   | 4年・ |
| 5年女子100メートル   | 5年・ |
| 5年男子100メートル   | 5年・ |
| 6年女子100メートル   | 6年・ |
| 女子走幅跳び        | 6年・ |
| 男子走幅跳び        | 5年・ |
| 男子ジャバリックボール投げ | 6年・ |
| 女子コンバインドB     | 5年・ |
|               | 5年・ |
| 男子コンバインドB     | 5年・ |
|               | 5年・ |



※ジャバリックボールは、ソフトボール投げに変わるもので、細長いラグビーボールに羽根のような部分が付いているものです。

※コンバインドBは、ジャバリックボール投げと幅跳びの点数の合計で競う新種目です。

今年は、14人の選手が挑戦しました。本番は“これまで経験したことがないほどの緊張感”を味わうことができたようです。

自分から進んで何かにチャレンジしていくことは、生きる上でとても大切な資質・能力の一つだと思います。

朝早くからの保護者の皆様のお引率もお疲れ様でした。チャレンジできる子どもの陰には、こうした親の理解と協力する思いがあふれていますね。

歩く集団登校へのご協力ありがとうございます

朝の車の送迎が本当に少なくなりました。学校からのお願いの意味を受け止めてくださりありがとうございます。下校時も、子どもに「できること」はやらせたいものです。やがて都会を一人で歩くこともある子どもたちに、今のうちに体力と「自立への芽」を育みましょう。

やってあげることから、だんだん教えて任せる子育てにしていきませんか？